

ソフト連携事業（共通業務の効率化）の進捗状況について

平成27年10月5日
広島県健康福祉局

1 治験等活性化事業について

【ねらい】

相互に連携及び協力して広島県治験等活性化事業を実施することにより、医薬品及び医療・福祉機器の臨床研究、治験並びに製造販売後臨床試験の一層の活性化及び医療技術の水準の維持・向上に資することを目的とする。

(「広島県治験等活性化事業の実施に関する協定書」の目的部分を抜粋)

【検討状況】

- 平成25年11月からパイロットとして患者相互紹介事業を中心に実施
- 平成27年度から、広島県治験等活性化事業として以下の項目を中心に検討・実施

事業分類	進捗状況
1 被験者相互紹介事業	課題もあるが依頼者の期待・要望は高い(H27被験者の照会は1件有, 調査中)
2 広報	依頼者訪問(20社以上), 冊子・ホームページの作成, 学会ブース出展, 日本医師会データベースへの病院情報登録
3 治験実施体制整備	セントラルIRB設置検討, 支払方式検討, 県の受託調整窓口設置
4 臨床研究の対応	新指針への対応状況把握, 研修会の実施
5 人材育成	臨床研究・CRC研修会の開催

【参考】

- 国は「臨床研究中核病院」の承認, NCの大規模DB等, 「選択と集中(及び排除)」を進めている。
- 西日本では, 九州大学や岡山大学も治験ネットワークを構築している。

2 診療材料等の共同購買について

【ねらい】

診療材料や医薬品等の購入に当たって、4基幹病院が共同で購入あるいは価格交渉すれば、スケールメリットを活かしたコスト削減につながるのではないかな。

【検討状況】

- 4基幹病院の診療材料購入実績データに基づいて購入品目を調査した。

4病院共通品	85品目	0.4%
3病院共通品	506品目	2.6%
2病院共通品	1,949品目	10.0%
1病院のみ使用品	16,859品目	86.9%
合計	19,399品目	100.0%

※ 品目数には広島市立病院機構の4病院を含む
※ 構成比については、端数処理の関係で合計が一致しません

- 引き続き、コスト削減や共同業務の効率化につながる手法について調査研究を行う。

【参考】(他県事例)

- 千葉大学病院(835床)、千葉市立海浜病院(287床)及び千葉市立青葉病院(380床)は、平成27年度から診療材料の購買に関する共同価格交渉を開始
- 徳島大学病院(696床)及び徳島県立中央病院(460床)は、ハード・ソフト両面の連携を進めており(総合メディカルゾーン構想)、平成25年度から医薬品の購買に関する共同価格交渉を開始

3 病院給食に係る互助体制の構築について

【ねらい】

災害時や食中毒事案等により厨房が使用できない場合に、他の病院が調理の応援を行うことで患者給食を確保することができないか。

【検討状況】

- 危機事案対応に関する4基幹病院の実態把握を行うとともに、先行事例（兵庫県給食施設連携協議会）について調査した。
- 引き続き、院外調理の可能性や搬送手段等について調査研究を行う。

【参考】（他県事例）

● 兵庫県給食施設連携協議会

阪神淡路大震災やO157集団食中毒を教訓に、災害時及び食中毒発生時においても病院や社会福祉施設利用者に対して安全かつ確実・継続的に食事を提供することや給食業務の研究・改善及び管理の向上を目的として平成10年11月に設立

〈主な事業〉

- ・ 相互支援体制整備マニュアルの作成
～緊急連絡網の整備，支援方法の検討，備蓄食品に関する情報共有等
- ・ シミュレーションによる相互支援実地訓練の実施
～通報訓練（緊急連絡網を使った情報伝達），相互支援訓練（食事の支援）